

人間総合科学研究群(図情)

前期_情報学学位プログラム

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

No.	学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時（春学期）	面接日時（秋学期）	留意事項	連絡先
33	情報学学位プログラム（博士前期課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	出願後1週間以内	出願後1週間以内	出願書類を提出する前に事前連絡をすること	tosyoss- daigakuin#@un.tsukuba.ac.jp (###を@に置き換えてください)
34	情報学学位プログラム（博士後期課程）	無						

情報学学位プログラム(博士前期課程)

情報学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATW111	データサイエンス実践		1	2.0	1・2	春AB	木3,4	7A103	森継 修一, 伊藤 寛祥, 芳鐘 冬樹	研究機関等が提供するオープンデータの拡充とともに、それらの分析手法に習熟したデータサイエンティストの社会的需要が高まっている。第1~3回では、データサイエンスと数学および統計学の関連について概観したのち、最新の「計算代数統計」の手法の導入までを学ぶ。第4~7回では実データを対象とした仮説検証の方法と、得られた予測に基づく意思決定の理論を講義を通じて学ぶ。第8~10回は、インフラメトリクスデータに基づく分析の手法について学習する。特に、指標の標準量依存性に配慮した分析に関する理解を深める。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。メディアサイエンス専門科目。西暦偶数年度開講。01MB06、01MB19と同一。 対面 英語シラバスは科目番号OATW121を参照のこと		情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW112	機械学習とパターン認識		1	2.0	1・2	春AB	木1,2	7A210	若林 啓, 于 海濤	本講義では機械学習手法の原理と実践的利用についての体系的な知識を学ぶ。特に、データサイエンスの基礎技法である画像認識や文書分類、クラスタリングを行うための機械学習手法として、ニューラルネットワークやベイズモデルに基づく教師あり学習と教師なし学習を扱う。線形代数や確率論に基づいた機械学習の基本的な原理について講義するとともに、画像データやテキストデータのパターン認識に関する演習を適宜交えることで理解を深める。また、データマイニングにおける応用や、大規模データに対する並列処理など、機械学習に関連した技法についても学ぶ。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。メディアサイエンス専門科目。教職科目。西暦偶数年度開講。01MB20と同一。 対面(オンライン併用型) 英語シラバスは科目番号OATW122を参照のこと		情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW113	メディアデザイン		1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	7A210	金 尚泰, 落合 陽一, 伏見 龍樹	芸術・デザイン・メディアアートの知見から、情報デザインの仕組みを理解するとともに、ハードウェア制作やソフトウェア制作を通じて実世界志向インタラクションおよびインフォグラフィックスの手法を学ぶ。実世界志向のインタラクションは近年、スマートフォンやウェアラブル端末などの情報機器の普及によって産業界から注目を集めており、またインフォグラフィックスを応用した画面表示やコミュニケーションのための表現がコンテンツ制作者に求められている。本講義ではグラフィックデザイン手法を基盤とし、ビジュアル表現に関して議論ができるスキルを養い、その応用例として展覧会を実施し、それにまつわるビジュアル作りやキャプション作りなど実社会で使用するスキルを身につける。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。メディアサイエンス専門科目。西暦偶数年度開講。01MB07、01MB12と同一。 オンライン(対面併用型) 英語シラバスは科目番号OATW123を参照のこと		情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW114	ビジュライゼーション		1	2.0	1・2	秋AB	火1,2		時井 真紀, 藤澤 誠	医療分野や気象学、生物学などで得られる計測データ、購買情報等の人々の行動データ、物理現象の解析に用いられるコンピュータシミュレーションから得られる数値データなど、膨大で複雑なデータを人間が理解し、解釈するためにコンピュータグラフィックスを用いた情報可視化技術が必須となってきた。本講義では情報可視化の基礎を学ぶとともに、科学的なデータを可視化するサイエンティフィックビジュライゼーションと社会的なデータを可視化するインフォメーションビジュライゼーション、そしてこれらのデータを扱うための3次元ユーザーインタフェース(AR)についても学ぶ。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。メディアサイエンス専門科目。教職科目。西暦偶数年度開講。01MB09、01MB04と同一。 オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW124を参照のこと		情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW117	構造化データ		1	2.0	1・2	秋AB	月1,2		鈴木 伸崇, 中井 央	本講義では、構造化データとその処理手法などについて学ぶ。講義は大きく2つの観点から行われる。一つは、構造化データを処理する上で必要となる、正規表現やオートマトンなどの基礎概念、および、構造化データに対する構文解析手法についてである。もう一つは、XMLデータに対する代表的な検索言語であるXPathやXQueryについて、および、構造化データベースなど、マークアップ言語で記述されたデータの番付・管理手法について、および近年普及が著しいグラフデータにおける検索やスキーマについてである。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。メディアサイエンス専門科目。教職科目。西暦偶数年度開講。01MB09、01MB01と同一。 オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW127を参照のこと		情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW11A	情報アクセス		1	2.0	1・2	秋AB	土3,4		関 洋平, 森嶋 厚行	大量の情報へのアクセスは、ビッグデータ時代の鍵となる技術であり、その重要性は益々増大するばかりである。本講義では、情報アクセスの中心となる技術である情報検索、情報管理・統合技術、自然言語処理について、最先端の技術動向を交えながら説明する。これらの領域における最先端の話題として、WWWを舞台としたクラウドネイティブ検索や法創知、クラウドソーシング、ソーシャルメディアにおける情報統合についても解説し、情報アクセス技術のこれまでもこれからの研究や社会応用の展望について理解を深める。	東京キャンパス開講。毎年日本語で授業。メディアサイエンス専門科目。教職科目。研究群共通専門基礎科目。OAS0704と重複履修不可。 01MBE12と同一。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)		情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW125	Biological and Life Informatics		1	2.0	1・2	春AB	月3,4	7A210	真榮城 哲也	A course designed to teach informatic aspects of life. Measurement and modelling, data storage, analysis and representation of biological phenomena are discussed, focusing on genetic information, information processing in living organisms, brain activity and physiological signals. Specifically, bioinformatics methods to treat biological information, systems biology approach to model living organisms, physiological signal processing, auditory system and its modeling, and media art with physiological information are explained. Informatic principles and approaches in modern biology will also be discussed with related biological processes.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively. Special subjects for media science. Teacher Training Course. 西暦偶数年度開講。英語で授業。 対面		情報学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATW126	Kansei and Cognitive Information	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	7A205	森田 ひろみ, 李昇埈, 飯野 なみ	This course examines human kansei and cognitive activities as a prerequisite for studying media science. The course consists of lectures on: (1) Basics and application of computational modelling and knowledge representation of human cognition, in particular, of rational and analytic processes. (2) Psychological methodology and results of object recognition and movement learning related to interface design, and. (3) The relation of kansei information to creative activity and their evaluation criteria. Application of such kansei, cognitive, and biokinematic information to design inspiration and product development will also be discussed.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively. Special subjects for Media Science 西暦偶数年度開講。英語で授業。対面(オンライン併用型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW132	情報プラクティス	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	7A204	千 海濤, 松林 麻実子	情報プラクティスとは人間と情報との相互作用全般を含む新しい概念であり、図書館情報学における情報行動研究からコンピュータ科学におけるヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)まで幅広い領域で議論される。他者やユーザの社会的文脈など既存研究より広いコンテキストを考慮した相互作用の理解を重視する点に特徴がある。本講義では、古典的な情報探索行動・情報検索研究から情報プラクティスという視座に至るまでの歴史的経緯、ログ分析や実験室実験を基にした情報探索行動のユーザモデル、そして、ユーザの探索行動を学習・予測する手法とその評価について学ぶ。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。情報インタラクション専門科目:教職科目 西暦偶数年度開講。01MBA06、01MBA07と同一。対面 英語シラバスは科目番号OATW142を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW136	コミュニティ分析	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	7A205	後藤 嘉宏, 照山 絢子	情報や知識は、コミュニティが繋がりを断絶し、ときに衝突し、影響を与え合うインタラクションの中で生み出され、活性化され、伝達される。本講義ではコミュニティ研究の基礎理論を学ぶとともに、エスニシティ、地域、言語等、コミュニティのカテゴリごとにフィールドワークなどの質的調査に基づく既存研究をレビューする。さらに公民館、図書館、学校、病院、地域コミュニティなどの場でコミュニティ間にインタラクションの必要な場面が生じた際に、メンバー特性を踏まえ、コミュニティ内の情報や知識がどう発生・受容・変容するかを学ぶ。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。情報インタラクション専門科目:教職科目 西暦偶数年度開講。01MBC10と同一。対面 英語シラバスは科目番号OATW146を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW138	知的財産と情報の安全	1	2.0	1・2	春AB	月1,2		阪口 哲男, 高良 幸哉, 村井 麻衣子	情報に関連する法制度や裁判例を概観し、情報化・ネットワーク化が進む現代社会における法的問題とそれに関わる技術について検討を行う。具体的には、著作権法などの知的財産法や、プライバシー・個人情報保護その他の情報に関する法を扱う。また、社会規範を守るという観点から見ると、情報社会において情報に関する法的権利へ配慮することは、情報倫理としても求められるようになっている。さらに情報の安全や知的財産保護に関する技術の基礎についても扱う。この講義では、情報に関する法制度と関連する技術の基礎的な事項を確認するとともに、法制度のあり方や実際の事例について自ら検討を行い、幅広い視野での理解を深める。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業。情報インタラクション専門科目:教職科目 01MBA03、01MBA04と同一。オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW148を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW13A	知識情報分析	1	2.0	1・2	春AB	金7,8		横山 幹子, 松原 正樹, 芳鐘 冬樹	知識についての論考とそれを形成・獲得するための方法について学ぶ。まず、知識とは何かについて検討する。「正当化された真なる概念」という知識の定義やそれに対する批判(ゲティア問題等)を紹介した上で、知識の共有について意味論との関わりを踏まえ、相対主義とその批判という視点から講義する。次に、身体化された認知の観点から知識の形成についての3つの考え方を紹介し、最近の研究動向を踏まえて考究する。そして、最後に、知識・情報・データの関係を整理した上で、計量情報学のモデルに基づいて知識を表現・獲得する方法について学ぶ。	東京キャンパス開講: 毎年日本語で授業。情報インタラクション専門科目:教職科目 01MBA131と重複履修不可。対面(オンライン併用型) 対面(オンライン併用型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW13B	ヒューマンコンピュータインタラクション	1	2.0	1・2	秋B	集中		三河 正彦, 井上 智雄	本講義では、ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)について解説する。より円滑なインタラクションを実現するために必要となるHCIの基本的な考え方ははじめ、システムとして構築するための設計、実装、評価手法の概要について学ぶ。さらにユーザーインタフェース(UI)、ロボティクス、コンピュータビジョン、認識技術等のシステムをインテリジェント化するための要素技術に加え、人間のコミュニケーションや情報共有を支援、拡張、活用するソーシャルコンピューティングに関する研究開発の最新の動向についても解説する。	東京キャンパス開講: 毎年日本語で授業。情報インタラクション専門科目:教職科目 01MBA134と重複履修不可。01MBC11と同一。11/30, 12/1, 12/7, 12/8, 12/14, 12/15 対面			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW13C	デジタルヒューマニティーズ	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8		宇陀 則彦, 和氣 愛仁, 高橋 洋成	デジタルヒューマニティーズは人文学資料にデジタル技術を適用することで、伝統的手法では得られなかった知見を得ることを目的としている。講義では、テキストを資源化するためのテキストエンコーディング、絵図から作成当時の文化や社会を考察する画像分析、歴史文書に自然言語処理手法を適用する文書解析、古地図や古文書の記述を地理情報システムにマッピングする手法、画像ファイルを簡単に流通させるための規格であるInternational Image Interoperability Framework (IIIF:トリプルアイエフ)等について解説する。	東京キャンパス開講: 毎年日本語で授業。情報インタラクション専門科目 01MBA137と重複履修不可。01MBC03と同一。オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW13D	知的財産と情報の安全	1	2.0	1・2	春AB	土5,6		阪口 哲男, 高良 幸哉, 村井 麻衣子	情報に関連する法制度や裁判例を概観し、情報化・ネットワーク化が進む現代社会における法的問題とそれに関わる技術について検討を行う。具体的には、著作権法などの知的財産法や、プライバシー・個人情報保護その他の情報に関する法を扱う。また、社会規範を守るという観点から見ると、情報社会において情報に関する法的権利へ配慮することは、情報倫理としても求められるようになっている。さらに情報の安全や知的財産保護に関する技術の基礎についても扱う。この講義では、情報に関する法制度と関連する技術の基礎的な事項を確認するとともに、法制度のあり方や実際の事例について自ら検討を行い、幅広い視野での理解を深める。	東京キャンパス開講: 毎年日本語で授業。情報インタラクション専門科目:教職科目 01MBA138と重複履修不可。オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATW141	Analysis of Knowledge and Information	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	7A210	横山 幹子, 松原正樹, 芳鐘 冬樹	This course introduces the concepts of knowledge and their formation and acquisition methods. The initial units discuss the concept of knowledge. After having seen the definition of knowledge as justified true belief and its criticism (the Gettier problem etc.), we argue about the sharing of knowledge in light of theories of meaning from the viewpoint of relativism and its criticism. The subsequent units introduce three ways of thinking about knowledge formation from the viewpoint of embodied cognition and discuss them in light of recent research trends. The last units introduce methods of knowledge representation and acquisition based on informetric models, focusing on the interrelations between knowledge, information and data.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively; Special subjects for Information Interaction; Teacher Training Course No duplicated entry with OATW13A 西暦偶数年度開講。英語で授業。 対面(オンライン併用型)、オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW143	Recommendation Systems	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2		辻 慶太, 松村 敦	Various aspects of recommender systems such as methods, implementation, evaluation and problems will be introduced. More specifically, representative recommendation methods such as user-based collaborative filtering, item-based collaborative filtering (association rules), content-based filtering (which represents contents of items as various numericals), knowledge-based recommendation (which requires users to show their interests) and hybrid recommendation based on machine learning using various information will be introduced. How to measure appropriateness of recommendation i.e. notion of precision, recall, novelty or serendipity for users will also be shown.	Classes are offered in Japanese in odd-years and in English in even-years, respectively; Special subjects for Information Interaction; Teacher Training Course 西暦偶数年度開講。英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW144	Human Computer Interaction	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	7A210	三河 正彦, 井上智雄	This course provides lectures on Human-Computer Interaction (HCI). Basics of HCI for realizing natural interaction, and brief overview of design, implementation, and evaluation methodologies for building interactive systems are explained. Technological elements for intelligent systems such as user interface (UI), robotics, computer vision and recognition are in the scope. The course also touches on recent research advancement in social computing for supporting and augmenting human communication and information sharing.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively; Special subjects for Information Interaction; Teacher Training Course No duplicated entry with OATW13B 西暦偶数年度開講。英語で授業。 対面			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW145	Communication Behavior	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	7A208	歳森 敦, 叶 少瑜	This course discusses interpersonal communication via quantitative survey approach. Students are expected to learn how various media usage influences interpersonal communication and selective behaviors. This course will introduce the history and development of various media, namely: (1) from mass media to social media, and (2) their effects on users' identity formation, (3) language use, (4) perception of communication media and interpersonal relationships especially social support networks. Through this course, students will be able to acquire basic skills to understand existing body of research studies conducted both within and outside of Japan.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively; Special subjects for Information Interaction; Teacher Training Course 西暦偶数年度開講。英語で授業。 対面			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW147	Digital Humanities	1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	7A210	宇陀 則彦, 和氣愛仁	Digital Humanities is aimed at obtaining knowledge that could not be obtained by traditional methods by applying digital technology to human literary materials. The course provides lectures on text encoding for the resources of the text, iconography analysis to consider the culture and society of the time created from a drawing, and document analysis to apply natural language processing techniques to historical documents. The course explains a method of mapping descriptions of old maps and old documents to geographic information systems. The course introduces the International Image Interoperability Framework (IIIF) which is the standard for easily distributing image files.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively; Special subjects for information interaction No duplicated entry with OATW13C 西暦偶数年度開講。英語で授業。 対面			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW151	図書館メディア文化史	1	2.0	1・2	春AB	金5,6		吉田 右子, 村田光司	本講義では、「歴史から学ぶ」という視座にたち、知識情報基盤としての図書館と記録メディアの歴史について学ぶ。まず、粘土板やパピルスといった古代のメディアから、羊皮紙とコデックス、活版印刷等、主として西洋の記録メディアの変遷を概観する。次に、中世の修道院図書館から図書館法、近代図書館の成立に至るまでの西洋の図書館の変遷を理解するとともに、日本の図書館の変遷についても学ぶ。	偶数年度は日本語で授業、奇数年度は英語で授業。図書館情報学専門科目 OATW15Aと重複履修不可。 西暦偶数年度開講。01MB05、01MC17と同一。 オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW161を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATW155	アーカイブズ	1	2.0	1・2	秋AB	月5,6		白井 哲哉, パーリシエフ エドワルド, 村田 光司	2011年の東日本大震災以降、歴史的に重要な文書記録の救出・保存が日本各地で取り組まれている。また日本では2011年の公文書管理法施行以後、行政文書の管理と保存が国の重要課題となった。本講義では、日本と欧米諸国におけるアーカイブズ施設(文書館・公文書館)、アーカイブズ資料(歴史資料・行政文書)及び専門職アーキビストとその養成の具体的事例に基づき、アーカイブズ学の全体像を論じるとともに、図書館の類縁施設であるアーカイブズ施設に関する基礎知識を獲得する。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業:図書館情報学専門科目 OATW155と重複履修不可。 西暦偶数年度開講。 01MBC05、01MBC18と同一。 オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW165を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW156	博物館情報メディア	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6		白井 哲哉, 寺地美奈子, LEE KANG	博物館はメディアである。博物館が提供するものは情報であり、テレビに似ている(梅棹1987)と唱えられて以後、インターネットの普及に伴い、メディアとしての博物館は急速に発展しつつある。リアルな博物館とヴァーチャルな博物館の双方において、情報メディアに関する知識と理解が強く求められている。本講義は、インターネット展開における映像リテラシーの重要性を論じつつ、博物館と情報メディアに関し、その現状と展望について、さまざまな観点から考察する。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業:図書館情報学専門科目 OATW156と重複履修不可。 西暦偶数年度開講。 01MBC21、01MBC06と同一。 オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW166を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW159	ユニバーサルサービス	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6		香海 沙織, 武田 将季	本講義では、年齢や人種などの多様性を包摂するコミュニティ形成に向けたユニバーサルサービスに焦点を当てて議論する。はじめに、ユニバーサルサービスの歴史、変遷を通して、そのアウトラインを概観する。続けて、現代的な諸課題について、超高齢社会における高齢者サービスを取り上げる。続けて、認知症支援サービスについて詳説する。さらに、障害者サービス、文化的多様性の観点から議論を進める。最後に、公共図書館等のパブリックな場において、多様なバックグラウンドを持つ人々に対して情報アクセスを保障するためのユニバーサルサービスを企画することで、社会実装まで行う能力の涵養を目指す。	偶数年度は日本語で授業。奇数年度は英語で授業:図書館情報学専門科目 OATW159と重複履修不可。 西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 英語シラバスは科目番号OATW169を参照のこと			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15A	図書館メディア文化史	1	2.0	1・2	春AB	火7,8		吉田 右子, 村田 光司	本講義では、「歴史から学ぶ」という視座にたち、知識情報基盤としての図書館と記録メディアの歴史について学ぶ。まず、粘土板やパピルスといった古代のメディアから、羊皮紙とコデックス、活版印刷等、主として西洋の記録メディアの変遷を概観する。次に、中世の修道院図書館から図書館法、近代図書館の成立に至るまでの西洋の図書館の変遷を理解するとともに、日本の図書館の変遷についても学ぶ。	東京キャンパス開講:毎年日本語で授業:図書館情報学専門科目 OATW151と重複履修不可。 オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15C	ライブラリーマネジメント	1	2.0	1・2	春AB	土3,4		池内 淳, 大庭 一郎, 小泉 公乃	本講義では、主に公共図書館を対象として、図書館を効果的に管理・運営していくための経営手法について学ぶ。経営学におけるさまざまな理論、原則、概念、技法などについて解説するとともに、それらを非営利組織体である図書館に応用することの展望と限界について検討する。さらに図書館経営のみに止まらず、図書館の社会的役割、政策・法制度、人的資源管理、サービス計画と評価、予算獲得と資金調達、広報、図書館連携(官民連携や学社連携も含む)などについて学ぶ。	東京キャンパス開講:毎年日本語で授業:図書館情報学専門科目 OATW153と重複履修不可。 01MBC44と同一。 オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15D	学術情報基盤	1	2.0	1・2	秋AB	土5,6		松林 麻実子, 西川 開	本講義では、研究者が行う学術コミュニケーションとそれを支える学術情報流通制度について概観するとともに、その現状と諸課題に関する理解を深める。前半では、研究活動と学術コミュニケーションの関係、学術メディアの電子化による学術コミュニケーションの新しい動き(学術雑誌の変化、オープンアクセス・オープンサイエンス概念の出現)について学ぶ。後半では、学術コミュニケーションを支える基盤としての学術情報流通制度(学術雑誌のビジネスモデル、大学図書館の研究支援サービス、学術情報ネットワーク)について学ぶ。	東京キャンパス開講:毎年日本語で授業:図書館情報学専門科目 OATW154と重複履修不可。 01MBC02と同一。 対面			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15E	アーカイブズ	1	2.0	1・2	秋AB	土7,8		白井 哲哉, パーリシエフ エドワルド, 村田 光司	2011年の東日本大震災以降、歴史的に重要な文書記録の救出・保存が日本各地で取り組まれている。また日本では2011年の公文書管理法施行以後、行政文書の管理と保存が国の重要課題となった。本講義では、日本と欧米諸国におけるアーカイブズ施設(文書館・公文書館)、アーカイブズ資料(歴史資料・行政文書)及び専門職アーキビストとその養成の具体的事例に基づき、アーカイブズ学の全体像を論じるとともに、図書館の類縁施設であるアーカイブズ施設に関する基礎知識を獲得する。	東京キャンパス開講:毎年日本語で授業:図書館情報学専門科目 OATW155と重複履修不可。 01MBC32と同一。 オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15F	博物館情報メディア	1	2.0	1・2	秋AB	月7,8		白井 哲哉, 寺地美奈子, LEE KANG, 水嶋 英治	博物館はメディアである。博物館が提供するものは情報であり、テレビに似ている(梅棹1987)と唱えられて以後、インターネットの普及に伴い、メディアとしての博物館は急速に発展しつつある。リアルな博物館とヴァーチャルな博物館の双方において、情報メディアに関する知識と理解が強く求められている。本講義は、インターネット展開における映像リテラシーの重要性を論じつつ、博物館と情報メディアに関し、その現状と展望について、さまざまな観点から考察する。	東京キャンパス開講:毎年日本語で授業:図書館情報学専門科目 OATW156と重複履修不可。 01MBC08と同一。 オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15G	情報組織化	1	2.0	1・2	春AB	月7,8		高久 雅生, 加藤 誠, 永森 光晴	本講義では、種々な情報資源を効果的かつ効率的に利用するための組織化について学ぶ。主にWWWやデジタルライブラリー等のネットワークを介して提供・共有される情報資源を対象とし、情報資源の分析とそのメタデータ記述、分類や識別の手法について学ぶ。また、Linked Open Data等の実践的なメタデータ記述も対象とし、記述に対するRDF Schema, OWL, SKOS等を利用したスキーマ定義とオントロジーについても理解を深める。あわせて、電子情報資源を対象としたレコード識別の方法として、適切な識別子を用いた同定、データクリーニング、自動同定の手法について解説する。	東京キャンパス開講:毎年日本語で授業:図書館情報学専門科目:教職科目 OATW157と重複履修不可。 オンライン(同時双方向型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATW15H	メディア教育		1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	鈴木 佳苗, 小野永貴, 辻 慶太	本講義では、生涯学習社会における学校図書館や公共図書館、ネットワーク環境などを含むアナログからデジタルまでの学習環境の在り方、これらの学習環境におけるメディアの活用や教育等を統合的に扱い、その基盤となる理論やモデル、実践について学ぶ。具体的には、メディアを活用して効果的に情報を収集・判断・創造・発信するために必要とされる「メディアリテラシー」の概念、メディア教育や学習環境の整備の重要性、現状や課題等についての理解を深め、今後の展開等について考察する。	東京キャンパス開講；毎年日本語で授業；図書館情報学専門科目 OATW158と重複履修不可。01MBE21と同一。オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW15J	ユニバーサルサービス		1	2.0	1・2	秋AB	木7,8	呑海 沙織, 武田 将季	本講義では、年齢や入種などの多様性を包摂するコミュニティ形成に向けたユニバーサルサービスに焦点を当てて議論する。はじめに、ユニバーサルサービスの歴史、変遷を通して、そのアウトラインを概観する。続いて、現代的な諸課題について、超高齢社会における高齢者サービスを取り上げる。続いて、認知症支援サービスについて詳説する。さらに、障害者サービス、文化的多様性の観点から議論を進める。最後に、公共図書館等のパブリックな場において、多様なバックグラウンドを持つ人々に対して情報アクセスを保障するためのユニバーサルサービスを企画することで、社会実装まで行う能力の涵養を目指す。	東京キャンパス開講；毎年日本語で授業；図書館情報学専門科目 OATW159と重複履修不可。オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW163	Library Management		1	2.0	1・2	春AB	金3,4	池内 淳, 大庭 一郎, 小泉 公乃	This course enables students to develop an understanding of the different approaches to effective organizational/operational management, as well as administrations, with special emphasis on public libraries. This course examines various management theories, principles, concepts, techniques in business administration. Challenges and limitations of applying such management theories for running the library as a nonprofit organization will also be addressed. In addition, students will also develop a basic understanding of the following: (1) social role, (2) policy, (3) legal system, (4) human resource management, (5) service planning and evaluation, (6) budget acquisition and financing, (7) public relations, (8) public-private partnerships, and (9) collaborations and partnerships with external partners for developing programs catered for early childhood education.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively. Special subjects for Library and Information Science No duplicated entry with OATW15C 西暦偶数年度開講。英語で授業。オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW164	Scholarly Communication and Infrastructure		1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	7A210 松林 麻実子, 西川 開	In this lecture, students learn the overview of scholarly communication and scholarly publishing system which supports the communication, and understand the current situation and some challenges of scholarly communication. In former part of the lecture, students learn the relationship between research practices and scholarly communication, and the new wave of scholarly communication (e.g. the change of scholarly journal, open access, open science.) In the latter part of the lecture, students learn scholarly publishing system which supports scholarly communication, such as business model of scholarly journals, research support services by academic libraries, and scholarly information network.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively. Special subjects for Library and Information Science No duplicated entry with OATW15D 西暦偶数年度開講。英語で授業。対面			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW167	Information Organization		1	2.0	1・2	春AB	木5,6	7A210 高久 雅生, 加藤 誠, 永森 光晴	In this lecture, students will learn about organizing methodologies to utilize various information resources effectively. They learn about information resource analysis and its metadata description, classification, and identification methods. Targeting information resources mainly provided and shared via a network such as WWW or digital library. This lecture also discusses practical metadata descriptions such as Linked Open Data, schema definitions, and ontologies using RDF Schema, OWL, SKOS, etc., for description. In addition, as methods of record identification for electronic information resources, the course explains the identification method using appropriate identifiers, data cleaning, and automatic identification methods.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively. Special subjects for Library and Information Science: Teacher Training Course No duplicated entry with OATW15G 西暦偶数年度開講。英語で授業。対面(オンライン併用型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)
OATW168	Media Education		1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	鈴木 佳苗, 小野永貴, 辻 慶太	This lecture will comprehensively learn the following topics and provide models and practice related to these topics: school and public libraries in a lifelong-learning society, what learning environments from analog to digital including networks should be, and media usage, application and education in these environments. Specifically, this course will enable students' understanding of the concept of "media literacy," which requires the ability to collect, judge, create and communicate information effectively. It also focuses on the importance of media-based education and maintenance of learning environments, and the current state and future issues and includes discussions regarding further development.	Classes are offered in English in even-years and in Japanese in odd-years, respectively. Special subjects for Library and Information Science No duplicated entry with OATW15H 西暦偶数年度開講。英語で授業。オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	
OATW217	コンテンツ開発		2	2.0	1・2	春AB	火3,4	7A210	鈴木 佳苗, 大塩 尚弘	研究やビジネスのプロモーション、来場来館が困難な利用者に対するオンライン・プレゼンテーションなど、映像による情報発信の重要性が高まっている。本授業では、オンラインで提供するデジタルコンテンツを自ら制作するための知識とスキルを習得する。各自が1作品ずつ映像を制作することを通して企画・撮影・編集というコンテンツ制作の全工程に関する知識とスキルを学習する。映像を活用した新しいサービスやビジネスを創造する方法論について学習する。	毎年、日本語で開講;実践指導科目 対面(オンライン併用型)			情報学学位プログラム (博士前期課程)
OATW218	記録情報管理		2	2.0	1・2	秋C	月・木 7,8	白井 哲哉, 浅井 良亮, 白川 栄美	本科目は実践指導科目のひとつとして位置づけられる演習科目である。本演習では、日本の公文書館施設における記録情報(公文書や歴史資料及びそれらにかかわる情報)の管理や公文書館施設の運営方法をめぐって、担当教員が出した課題に対して受講者が解決方法を提案し、それらの模範を通じて公文書館の専門職員であるアーキビストとしての知見や資質を高めることを目的とする。	東京キャンパス開講; 毎年、日本語で開講;実践指導科目 オンライン(オンデマンド型)			情報学学位プログラム (博士前期課程)	